

学習等支援施設（サポート校）自己評価

評価基準【A：達成できている B：概ね達成できている C：努力が必要 D：不十分である E：できていない】

分類	評価項目	評価に関する内容	評価	評価の観点
学習支援	面接指導（スクーリング）時の支援体制	面接指導（スクーリング）における生徒の登校時には、実施会場に職員が同伴し、生徒の支援および緊急時に対する行動がとれる体制がとれているか。	A	複数体制での見守りを実施している
	試験実施時の支援体制	定期考査（前期・後期テスト）における生徒の登校時には、実施会場に職員が同伴し、生徒の支援および緊急時に対する行動がとれる体制ができているか。	A	複数体制での見守りを実施している
	レポート学習支援	レポートの取り組みや提出に関して、安心して学習に取り組める支援がなされているか。	A	毎日レポート指導の時間を設けており、個別での支援も行っている
	面接指導（スクーリング）への出席状況	各生徒の面接指導の受講状況を把握し、適切に支援が行われているか。	A	毎時間の出席状況をその都度記録し職員で共有している 未受講の情報を逐次生徒へフィードバックしている
生徒支援	個別支援	ひとり一人異なった背景を持つ生徒に対して、個々に応じた関わりの方針が検討され、継続的な取り組みがなされているか。	A	継続的な個別支援を全生徒に提供しており、職員間で共有しながら方針を検討できている
	心の支援	高等学校での単位修得に関するサポートにとどまらず、生徒の心の状態や健康面に対する視点をもち、心身の成長や課題の克服を目標とした継続的な支援や対応がなされているか。	A	職員は臨床心理学を大学院で学び、終了後も十分な訓練を継続的に行っている
	行事・体験活動	行事や集団への体験の場を経験し、他者や集団に対する意識や人間関係の持ち方を体験し、社会参加に向けた取り組みに参加できる機会を持てる環境があるか。	A	少人数から集団活動まで様々なプログラムを準備し、生徒はそれぞれのペースに合わせて参加している
進路	進路支援	生徒の進路選択に対する支援が、保護者も含めてなされているか。	B	高校と連携しながら進路についての情報提供を行い、進路に関する相談にいつでも応じられる体制をとっている
保護者	保護者支援	保護者面談等を通じて、生徒の支援あるいは家庭での子供との関わりについて保護者支援がなされているか。	A	保護者懇談を定期的実施し、不登校の支援や心の発達に関する情報を伝える学習会を実施している
環境施設	防災	学習等支援施設において、火災や地震等、防災に対する支援体制はできているか。	A	定期的に監査や避難訓練を実施している
	施設安全対策	学習等支援施設において、安全点検等を定期的に行い、安全な環境づくりが推進されているか。	A	業者による定期点検を受けている
	衛生・健康管理	感染症対策等、施設の衛生面での管理がなされているか。	B	手指消毒の呼びかけ、定期的な換気を実施している
管理	文書管理	生徒情報は適切に管理されているか。	A	鍵のかかる場所に保存している
情報	情報提供	生徒の入学に際して、学習等支援施設と高等学校の関連性と学費に対する説明がなされているか。	A	1枚で違いが理解できる資料を提示し説明している
連携協力	関係機関との連携	必要に応じて、教育・医療・行政・心理・福祉・施設等との連携がとられているか。	B	求められた情報提供には守秘義務の確認を行い、その範囲内で応じている
	実施校との関係	当該施設と実施校の設置者との間で、連携協力内容についての文書による取り決めがおこなわれているか。	A	文書により取り決めを確認している
	実施校との関係	当該施設と実施校との連携について、実施校の学則内に当該施設との連携内容が明記されているか。	A	記載されている
	実施校との連携体制	生徒支援のため、実施校の職員と定期的に連携を取り生徒に必要な支援にあたれているか。	A	授業の実施日ごとに確認を行っている